

令和 7 年度土採取現場責任者試験

試 験 問 題

注 意 事 項

1. 試験時間 10 時～12 時（2 時間）
2. 試験問題の構成
 法令問題 10 問（問 1 ～問 10）
 技術問題 10 問（問 11～問 20）
3. 解答用紙
 上部の所定の欄に、受験番号及び氏名を正しく記入してください。
4. 解答の記入方法
 （1）ア～エのうちから、正解と思う該当符号を解答欄に記入してください。
 （2）一つの解答欄に複数の符号を記入した場合は、いずれも正解としません。
 （3）解答を訂正する場合は、消しゴムで消してから書き直してください。
5. 電子計算機及び計算機機能付時計の使用は禁止します。
6. 携帯電話等の電源は、必ず切ってください。
7. 退室は、試験開始後 40 分間、及び試験終了前 10 分間は認めません。退室時には必ず解答用紙を提出してください。なお、一度退室すると試験が終了するまで入室できません。
8. 試験問題は持ち帰りできます。
9. 不正行為をした方は失格とします。また、不正行為と紛らわしい行為をした場合も同様です。
10. 試験中はこの注意事項及び係員の指示に従ってください。従わない場合は、退場を命じることがあります。
11. 中途退出等係員を呼ぶ場合は、静かに手を挙げてください。

千葉県

問題中の用語について

- 1 「条例」とは、「千葉県土採取条例（昭和49年千葉県条例第1号）」をいう。
- 2 「規則」とは、「千葉県土採取条例施行規則（昭和49年千葉県規則第66号）」をいう。
- 3 「審査基準」とは、「千葉県土採取計画の認可に係る審査基準（平成25年4月1日施行）」をいう。

問 1 条例の目的を記述した文中、①～④に入れるべき語句について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

この条例は、土採取業について、その事業を行う者の①、土の採取計画の②その他の規制を行うことにより、土の採取に伴う③を防止し、もって④に資することを目的とする。

	①	②	③	④
ア	申 請	許 可	事 故	土採取業の健全な発達
イ	登 録	許 可	災 害	土採取業の健全な発達
ウ	申 請	認 可	事 故	県民の福祉の維持及び増進
エ	登 録	認 可	災 害	県民の福祉の維持及び増進

問 2 条例の適用に関する①～④の記述のうち、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 建設業者が、自己の請け負った工事のみに使用するために、土を採取する場合は、条例が適用されない。
- ② 個人が庭を修理するために、一時的に少量の土を採取する場合は、条例が適用されない。
- ③ 宅地造成に伴って土を採取し、造成工事で余った土を残土として搬出し、廃棄する場合は、条例は適用されない。
- ④ 非営利団体であれば、その事業のために反復、継続して土の採取を行う場合であっても、条例は適用されない。

- ア ①、②
- イ ①、④
- ウ ②、③
- エ ③、④

問 3 条例及び規則に基づく土採取業者の登録事項の変更の届出に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 法人であって、その業務を行う役員に変更があった場合は、登録事項変更届出書、役員が登録の拒否事由に該当しないことを誓約する書面及び申請者の土採取業経歴書を提出しなければならない。
- イ 法人である土採取業者がその監査役を変更したときは、変更の届出をしなければならない。
- ウ 土採取業者登録簿に登録された土採取現場責任者を減員した場合は変更の届出をする必要はないが、増員した場合は変更の届出をする必要がある。
- エ 法人であって、その代表者の住所が変わった場合は、変更の届出をする必要はない。

問 4 条例及び規則に基づく現場責任者の職務に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土の採取に従事する者に対する土の採取に伴う災害の防止に関する教育計画の作成に関して、土採取業者に助言すること。
- イ 土採取計画の作成及び変更に参加すること。
- ウ 土採取場において、認可採取計画に従って土の採取が行われるよう監督すること。
- エ 土の採取に伴う災害が発生した場合に、その原因を調査し、適切な対策を講ずること。

問 5 次の①～④の記述のうち、条例に基づく認可申請書に添付すべき書類として規則で定められているものはいくつあるか、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 掘削区域の求積図及び土量計算書
- ② 採取する土の種類及びその販売価格を証する書面
- ③ 土採取場の実測平面図並びに実測縦断面図及び実測横断面図に
計画地盤面を記載したもの
- ④ 土採取場の位置及び土の搬出経路を示す縮尺五万分の一以上の地
図

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 6 条例に基づく採取計画の認可に関する①～④の記述のうち、正しいものはいくつあるか、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 知事は、認可申請に係る採取計画に基づいて行う土の採取が他人に危害を及ぼし、公共の用に供する施設を損傷し、又は他の産業の利益を損じ、公共の福祉に反すると認めるときは、認可をしてはならない。
- ② 知事は、認可申請に係る採取計画に定められた採取する土の数量及びその採取の期間を審査し、土の需給に混乱が生じるおそれがあると認めるときは、認可をしてはならない。
- ③ 知事は、採取計画の認可に条件を付することができるが、その条件は、認可に係る事項の確実な実施を図るため必要な最小限度のものに限り、かつ、認可を受ける者に不当な義務を課することとなるものであってはならない。
- ④ 知事は、採取計画に定められた土の採取のための設備その他の施設に関する事項又は土の採取に伴う災害の防止のための方法及び施設に関する事項に不備があることを理由として、不認可処分をしてはならない。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 7 条例に基づく緊急措置命令等に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 知事は、土の採取に伴う災害の防止のため緊急の必要があると認めるときは、採取計画の認可を受けた土採取業者に対し、土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。
- イ 知事は、土の採取に伴う災害の防止のため必要があると認めるときは、登録を受けずに土採取業を行った者に対し、土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。
- ウ 土採取業者は、緊急措置命令に従って必要な措置を行う限りにおいては、その措置の内容が認可採取計画と異なっていたとしても、遵守義務違反とはならない。
- エ 土採取業者は、緊急措置命令に違反しても、認可を受けた採取計画に従い採取を行っていれば、認可が取り消されることはない。

問 8 条例及び規則に基づく完了及び廃止の届出等に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土採取業者は、認可に係る土の採取を完了し、又は廃止したときは、任意様式により届出を行わなければならない。
- イ 土採取業者は、認可に係る土の採取を廃止し、その旨届け出た後であっても、当該認可の採取期間内であれば、再度届け出ることにより当該認可に係る土の採取を再開することができる。
- ウ 土採取完了（廃止）届出書は、認可採取計画の採取の期間内に届け出なければならない。
- エ 土採取完了（廃止）届出書には、採取跡地の土砂等の崩壊の防止方法及び施設並びに跡地利用計画等を記載しなければならない。

問 9 条例及び規則に基づく土採取場に掲げるべき標識に関する①～④の記述のうち、誤っているものはいくつあるか、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 補助標識は、土採取場の主たる出入口の見やすい場所に掲示しなければならない。
- ② 森林法による林地開発許可を受けた土採取場においては、当該林地開発許可に係る標識を設置すれば、土採取の認可に係る標識を掲げたものとみなすことができる。
- ③ 補助標識は、その下部が地面から50 cm以上の高さになるよう設置しなければならない。
- ④ 補助標識は、土採取場の区域が確認できるものでなければならない。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 10 土採取に関連する法令等に関する①～④の記述のうち、誤っているものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

※一部の法律では、当該法の規定に基づき、事務の一部を都道府県知事や指定都市の長等の権限として処理すること（以下、「事務権限の移譲」という。）ができる場合があるが、この問題においては、事務権限の移譲はないものとして解答すること。

- ① 森林法で指定する保安林において土を採取する場合は都道府県知事に届け出なければならない。（森林法）
- ② 指定地域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、市町村長に届け出なければならない。（騒音規制法）
- ③ 荷主は、車両の運転手に対し、当該車両への積載が過積載となることを知りながら、制限重量を超える積載物を当該車両に積載させるために引き渡してはならない。（道路交通法）
- ④ 千葉県土採取条例に基づく認可を受けて新規工事を行う場合は、宅地造成及び特定盛土等規制法（通称「盛土規制法」）に基づく許可申請は行わなくても良い。（盛土規制法）

- ア ①、②
- イ ①、④
- ウ ②、③
- エ ③、④

問 11 土の採取量は、採取に伴う災害を防止するため過大なものにならないよう決めなければならないが、次の①～④について、採取量の適否を判定するために必要な事項として、審査基準に定められているものはいくつあるか、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 採取機械その他の設備の能力
- ② 景気動向等による需要見通し
- ③ 採取場の自然状況による採取の難易度
- ④ 作業時間及び作業人員

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 12 審査基準に定められている災害防止の方法等に関する①～⑤の記述について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 乾燥時においては、土砂の飛散を防止するため、周辺の状況に応じて、土採取場内への散水、防砂ネットの設置その他の必要な措置を講ずること。
- ② 土採取場において、工事関係者以外の者が近づくことができる箇所がある場合は、当該箇所に囲い柵、危険表示、その他の表示物を設置するものであること。
- ③ 掘削箇所への地下水の浸透、地下水位の低下その他の地下水の変化により、土採取場周辺の井戸水、農業用水その他の水の利用に悪影響を与えないように行うものであること。
- ④ 土砂の飛散を防止するため、土採取場内で土採取が終了しあるいは裸地のままの区域で、現在あるいは今後の土採取において支障を来さない区域がある場合には、早急に緑化を進めるものであること。
- ⑤ 降雨等により、土採取場内で土砂、汚濁水等が滞留するのを防止するため、土採取場外に排出する施設の設置その他の適切な措置を講ずること。

- ア ①、③、④
- イ ②、④、⑤
- ウ ①、②、③、④
- エ ①、②、③、④、⑤

問 13 審査基準に定められている土の掘削の方法等に関する①～④の記述について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 申請者は、丁張りその他の方法により、掘削のこう配及び掘削深を表示しなければならない。
- ② 掘削の方法は、すきとり方式、階段掘り方式その他の安定こう配を保つことのできる方式でなければならない。
- ③ 申請者は、掘削基準点を設定し、掘削基準点より高い標高の位置において、掘削を行ってはならない。
- ④ 掘削の箇所は、隣接地から1メートルを標準とした距離を保たなければならない。

- ア ①、②
- イ ①、②、③
- ウ ①、③、④
- エ ②、③、④

問 14 審査基準に定められている採取跡の処理に関する①～④の記述について、**正しいものの組合せ**を、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 採取終了後は、のり面の崩壊を防止するため、1年以内に、草木の植栽、土留めの設置その他の必要な措置を講じなければならない。
- ② 採取終了後ののり面は、こう配を60度以下としなければならない。
- ③ 採取跡は、平坦にすることが困難な場合にあっては、降雨等により土砂が崩壊、流出しないよう措置を講じなければならない。
- ④ 採取終了後ののり面は、垂直高さに応じて小段を設けなければならない。

- ア ①、②
- イ ②、③
- ウ ①、④
- エ ③、④

問 15 のり面崩壊の原因等に関する記述として適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア 積雪による重圧又は融雪は、のり面の安定を乱して破壊に導くことが多い。

イ 霜柱及び凍土はのり面を安定させるので、破壊の原因とはならない。

ウ 雨はのり面を流れることにより、表土を流し去って雨亀裂を作り、のり面の安定を乱して破壊に導くことが多い。

エ 風は土を飛散させ、また風化を促進するので、むき出しののり面に対しては直接の破壊力となる。

問 16 ホイールローダとダンプトラックによる土の積込み作業、運搬作業に関する記述について適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア ダンプトラックが急な下り坂を走行する場合は、エンジンブレーキまたはリターダ（補助ブレーキ）を使用し、速度をあまり落とさずに降坂する。
- イ ホイールローダは、機敏な移動や同時に複数の動作が可能であるが、操向しながら（車両を旋回させながら）掘削するようなことはしない。
- ウ ホイールローダはダンプトラックの荷台側面に対して直角に入り、偏荷重、過積載とならないよう積み込む。
- エ ダンプトラックは実車優先、上り優先の原則を守り、円滑な運搬作業を心掛ける。

問 17 土採取跡ののり面緑化工について、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ア のり面のこう配が緩やかであるほど、植物の定着・生育性がよくなる。

イ のり面緑化の目的は、景観保持、水源保持、流出水量の調整のほか、雨水等による表面浸食や初期崩壊防止にある。

ウ 根張りの大きい高木類では植栽基盤（犬走り）を痛め、崩壊助長につながることもあるので注意が必要である。

エ 施工の時期は、通常夏季～秋季に行うことが好ましい。

問 18 等高線の性質に関する記述として、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 傾斜が一様な斜面では、等高線の間隔は一定である。また、急傾斜地では、等高線間隔は狭く、緩傾斜地では広い。
- イ 内側で等高線が閉合する場所は、必ず高い標高を示す。
- ウ 1本の等高線は、途中で消えたり分かれたりすることなく、図面の中あるいは、図面外で必ず閉合する。
- エ 同じ等高線上の点は、すべて同高（同標高）である。

問 19 採取計画の立案には、掘削総量の算定が必要となるが、下記の〈計画内容〉において、平均断面法により算定される掘削量として、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

〈計画内容〉

	測点間距離 (m)	断面積 (m ²)
No. 0	20.00	0.00
No. 1		120.00
No. 1	20.00	120.00
No. 2		400.00
No. 2	20.00	400.00
No. 3		1,000.00
No. 3	20.00	1,000.00
No. 4		600.00
計	80.00	

- ア 34,000 m³
- イ 36,400 m³
- ウ 42,400 m³
- エ 46,400 m³

問 20 採取場にて地山土量 3, 200 m³を掘削し、ダンプトラック（5 m³積）8 台で運搬すると、運搬に要する日数は何日になるか。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ただし、掘削する地山の土量変化率は、 $L = 1.30$ 、 $C = 0.90$ とし、ダンプトラック 1 台が 1 日に運搬する回数は 4 回とする。

注)
$$L = \frac{\text{ほぐした土量 (m}^3\text{)}}{\text{地山の土量 (m}^3\text{)}} \qquad C = \frac{\text{締固め後の土量 (m}^3\text{)}}{\text{地山の土量 (m}^3\text{)}}$$

- ア 20 日
- イ 25 日
- ウ 26 日
- エ 30 日